

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすみれ			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日 ～ 2025年 1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動や身支度を通してコミュニケーション能力が育まれ、身辺自立が進んでいる。将来の自立に向けた強みだと思う。	「できた」という達成感を得つつ、取り組んでいる姿にも注目し、前向きな言葉かけを意識することで、自信や「またやりたい」という意欲につながるようにしている。集団活動では、ルールを意識しつつも「楽しかった」と言えるような雰囲気づくりを心掛けている。	職員それぞれが児童の「ここまでは自分ができる」「これは難しい」の見極めを行い、一人一人に合った支援をできるようにする。また、活動内容は、新しいものを取り入れながら、既存の者はバージョンアップして、マンネリ化しないように工夫している。
2	法人内に主に小学校高学年及び中高生の児童が利用する事業所があり、イベント等で異年齢の交流ができる。	季節のイベント（ハロウィン、節分等）を合同で行い、グループ内で年上の児童が年下の児童に教える機会などを設けている。	年上の児童を見たり、関わったりすることで「あんなお姉さんお兄さんになりたい」という憧れの気持ちを持てるような取り組みを今後も継続していく。
3	保護者と話す機会をできるだけ持てるように、自宅へ送った際には児童の様子を丁寧に伝えることを心掛けており、また自宅等での様子についても知る機会としている。また、直接のやり取りが難しい場合にはメールを使用している。	職員から保護者へ伝えたこと、保護者から伝えてもらったことを、他の職員とも共有している。	保護者へ伝えたその時の様子等細かな点での気づきを得られるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の外は身体を動かすのに十分な広さがあるが、うまく活用できていない。	日陰になる場所がほぼない為、特に夏は外での活動が難しい。また、道路に面した場所全てに塀などがいないために安全性の確保が難しい時がある。	暑さが厳しくない時期で外に出て身体を動かす活動、自然体験ができる等を検討する。また安全面については、職員への危機管理の意識を高め、塀やフェンスなどを設置できるかどうかを検討していく。
2			
3			